

私たちの税金、ムダなく 効率的に活かされるか

子育て

問 「出生祝い記念品」の内容は。住民課長 少子化が進む中、誕生を祝い、また、新生児の健やかな成長を願い、記念品とメッセージを贈呈する。ベビースケールや瑞穂ブランドなど5点の品物から選択していただく。

問 子ども・子育て新制度に伴い、新たにスタートする地域型保育の内容は。福祉課長 地域型保育園として小規模保育園が開園予定。瑞穂のぞみ保育園とゆめのもり保育園の2園。入園対象は0歳から2歳までで、定員はそれぞれ15名と19名。



出生祝い記念品のベビースケール(左)とアルバム(右)

環境

問 約37万円で購入する臭気センサーはどのように活用されるのか。環境課長 ポータブル型の簡易センサーを購入予定で、苦情があったところで定期的に測定して、データ管理をする。問題が発生した時の基礎数値として活用していく。

安全・安心

問 見守りマップ保守委託料が125万円増額されているが、理由は。高齢課長 システムを改修する。内容は、新たに土砂災害危険区域を表示し、表示する公共施設の数も増やす。また、在宅の要介護3の人のデータも入れる。

問 防災行政無線の聞きづらい地域、土砂災害警戒区域、危険区域に個別受信機を設置する検討はしたのか。また、電話音声応答サービスの利用拡充のためのシール配布などは予算化しなかったのか。地域課長 殿ヶ谷の南部地域では個別受信機対応しているが、その他の地域では電話音声応答サービス・メール配信サービスでカバーしている。音声サービスの利用促進のために広報、ホームページなどでPRに努めたい。シールなどの予算計上はしていない。

産業

問 産業見本市等出店支援事業費として50万円計上しているが積算根拠は。都市整備部長 出店の補助として1社10万円を5社を予定している。希望者が増えた場合には、状況を見ながら検討していく。



25年10月に町内の事業者が出展した「産業交流展」の様子(東京ビッグサイト)

文化

問 戦後70年記念戦争体験記録映像作成の内容と利用方法は。企画課長 町内の戦争体験者3名程度の方に、インタビュー、または、語りべとして話をさせていただく。1人15分程度、45分ぐらいのDVDを50枚作成する。けやき館、学校などと連携しながら放送していきたい。

問 郷土資料館の移転に伴う図書館内の配置換えなどにかかる経費として約700万円計上されているが、内容は。図書館長 1階にはキッズコーナーを設置する。2階は、現在ある閉架図書を3階に上げ、学習スペースを拡大し、DVDなどの視聴機を置く。3階には、会議スペースなどを設置する。

歳入

問 事業主が従業員の給与から天引きして納税する特別徴収を増やすために、27年度はどのように取り組むのか。税務課長 町の特別徴収率は、都内で2位という実績である。今後も事業者と話を進めていきたい。

問 新たに図書館振興財団振興助成金が77.6万円計上されているが、使い道は。図書館長 なくなりつつある町のさまざまな分野の資料をデジタル化し情報発信する。今回、財団に申し込んだ結果、全国24団体の中の一つに選ばれ、助成金が交付される。



デジタル化を予定している資料

健康

問 健康増進に向け、施策の拡充をどのように図るのか。健康課長 胃がん、肺がん検診の同時受診日を1回から3回に増やし、受診者枠も拡大する。また、これまで平日の昼に行われていた慢性腎臓病予防講座を土日または夜間に行う予定。

学力向上

問 新たな学力向上策としてフューチャースクール委託料756万円が計上されているが、内容は。指導課主事 中学生を対象に大手学習塾と連携し、教科は数学と英語で各中学校で開催する。各クラス15名で学年ごとに基礎・基本コース、発展・応用コースに分かれ月2回(土曜日の午前)、夏期連続5日間、冬期3日間行う予定。学習塾のノウハウを積極的に取り入れ、個別指導を充実させていきたい。

まちづくり

問 田園環境整備マスタープラン作成委託料として約320万円計上されているが、内容は。都市整備部長 狭山池上流部の農業振興地域の整備をするため、自然環境の調査、地形、動植物調査を行う。策定する上で、農業委員会をはじめ、可能な限り地権者や地域の方々の意見を反映したい。

問 さやま花多来里の郷整備工事費9,575万円の内容は。建設課長 園路・広場工事費約2,500万円。サービス施設整備(あずまや、ベンチ、野外卓、展望デッキなど)約1,000万円。管理施設(案内板、説明板、その他車どめなど)800万円。直接工事費で約5,000万円を計上した。



観光客でにぎわう「さやま花多来里の郷」